

TECH FUND REPORT

DXP&SODATEAGE NET& LIFE IS TECH!



Tech募金にご寄付いただいた皆様へ

「東京に来て、この雰囲気を感じてよかったと思っているよ。地元から出たことなかったし」

TECH募金できた高校生のひとりが会った時にそんなことを語っていた。ひとりひとり、応募文章を読んだ時にかなり家庭的に厳しい状況の中で働いてきて、学校にも通ってきた。ひとりの学生は学校に入学した時は日本語もなかなか話せず、周りにとけ込めなかったという。それでも、スタッフや先生方の誘いで応募し、挑戦してきた。そういった場や機会、そして常時使えるPCを用意できて本当によかったと思っている。それによってキャンプに参加した高校生の友達も影響を受けてくるようになった。TECH募金は始まりだ。そこから彼らのストーリーはまた生まれていく。皆様のご寄付に感謝したい。

認定NPO法人D×P 理事長 今井紀明

TECH募金を通じて、見知らぬ場所で「パソコンがあったら」「プログラミングを学びたい」という想いを抱きながら暮らす高校生に出会うことができました。キャンプで実際に出会った彼らの表情は一樣に明るく、将来の自分、未来の世界に対して輝くような眼差しを見せる姿に感動すら覚えました。たくさんの寄付者に機会をいただいた子どもたちが歩む道の行き先はわかりませんが、振り返ったとき、そこにはたくさんのひとたちの存在があったことを思い出し、それを勇気に道なき道を笑顔で切り開いていてもらいたいです。そんな子どもたちの可能性と才能に出会わせてくれたのがTECH募金の価値であり、この社会の希望であると思っています。

認定NPO法人育て上げネット 理事長 工藤啓

PROFILE

参加者プロフィール

様々な背景を持つ高校生5名にPCとプログラミングを短期間で学べる機会を提供しました。



コウジ

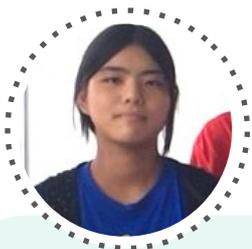
Age:16/ 定時制高校

どうして、プログラムにチャレンジしたいと思いましたか？

将来はプログラミングの仕事をしたと考えていて、この機会に勉強したいと思いました。パソコンをさわるのが好きで、いつもゲームをしたり、動画を作ったり、日記を書いたりしています。もともとフィリピンにいて小学校6年生のとき、学校の特別授業でゲームプログラミングを教わりました。自分の考えたことが実際にその通りに動くのがおもしろくて、プログラミングに興味を持ちました。プログラミングは、日本語がわからなくてもできるのが良いです。

このプログラムに参加して、これからどんなことをしていきたいか、おしえてください！

今回のプログラムで教えてもらったことを全部使いこなせるようになって、大学で勉強したり、RPGのゲームを作れるようになればいいと考えています。将来的には、プログラミングの仕事に就きたいと考えています。



カリナ

Age:17/ 定時制高校

どうして、プログラムにチャレンジしたいと思いましたか？

D×Pの今井さんと佐々木さんにこのプログラムを紹介してもらいました。私はまだ何をやりたいかは、特に決まってません。なのでとりあえず自分に出来ることを増やして、世界を広げたいと思い応募してみました。

このプログラムに参加して、これからどんなことをしていきたいか、おしえてください！

参加理由とほぼ被りますが、このプログラムに参加することで、自分に出来ることをいろいろ増やしたいです。



トシキ

Age:18/ 通信制高校

どうして、プログラムにチャレンジしたいと思いましたか？

もっとパソコンを扱うことに詳しくなりたいと思い応募しました。以前から、プログラミングをすることに興味がありました。しかし、その機会が無かったのと、自力でプログラミングをすることが出来なかったのでできませんでした。プログラミングの経験がまだ無いのですが、機械を弄ることに興味があって、いつかやってみたいと思っていました。PCゲームは好きでよくやっています。

このプログラムに参加して、これからどんなことをしていきたいか、おしえてください！

これからこういった仕事をするようになるのは分かりませんが、もの作りには興味があります。具体的には会話型ロボットやラジオコン、簡単なPCゲームを作れるようになってみたいです。仕事に生かせなくても、趣味の範囲で続けられたら良いなと思っている分野なので、何かのきっかけになる経験になれば良いなと思っています。



マコト

Age:16/ 定時制高校

どうして、プログラムにチャレンジしたいと思いましたか？

いごこちかふえを行うD×Pのスタッフにこのプログラムを紹介してもらいました。元々パソコンに興味があるのと、ゲームが好きなので将来は機械関係の仕事に就きたいと考え、応募しました。

このプログラムに参加して、これからどんなことをしていきたいか、おしえてください！

機械関係の仕事につきたい。



ニコラス

Age:19/ 定時制高校

どうして、プログラムにチャレンジしたいと思いましたか？

プログラミングが趣味で、もっとプログラミングについて学びたいと思って応募しました。初めてプログラミングをやってみたとき、「楽しい！」と思いました。ゲーミングプログラミングやJavaに興味を持ち、コードについて色々調べましたが、説明が難しくてなかなか頭に入らず、1人で作るのは難しいと感じていました。

そんな時、高校の先生からこのプログラムを紹介してもらいました。このプログラムに参加すれば、自分のコードの間違いを指摘してもらえたり、自分の知らないコードを学び、プログラミングで色々なものを作成できるのではないかと思います。

このプログラムに参加して、これからどんなことをしていきたいか、おしえてください！

将来はプログラマーとして働きたいと考えています。誰かの役に立つようなスマートフォンアプリを作って、みんなに使ってもらうのが夢です。あと、プログラミングができる人が集まって、ゲームを作ったりコードを書くような場を作れたらいいなと思います。この夢は1人でできるものではないので、人とのコミュニケーションや、他人から頼れる人だと思われるよう、がんばっていきたいと思います。



REPORT

参加者レポート

ライフイズテックが主催するプログラミングキャンプの様子をレポートしてもらいました。



プログラム参加前の心境

初めて東京に行ったのでまずどこがどこだか分からなくてかなり迷子になりました。迷子になりつつも集合場所に着くと予想以上に参加者の人数がいて驚きました。（マコト）

LifeIsTechのキャンプに参加する事がまだ信じられなかったです。今までは興味として自分一人でプログラミングをしていたので、プログラミングについてもっと勉強できる日が来るのがとても楽しみでドキドキいっぱいでした。（ニコラス）

まずは、自己紹介！

他の参加者とどういう風にコミュニケーションを取ればいいのか不安でしたが、メンターさんと初めて会って自己紹介をした時、「WEBサービスは難しいけど、お互い頑張りましょう！」という言葉をかけてくれました。やる気と楽しみさが増え、とても嬉しかったです。

自分は外国人なので、周りから変だと思われたり、仲間はずれにされないか怖かったです。同じグループのメンバーが、やさしく挨拶とわかりやすい自己紹介をしてくれて今でも覚えています。こういう日本人とのグループ活動とても久しぶりで、自分から話をする事や、意見を出す事がなかなか難しかったけど、グループのメンバーに自己紹介をしたり、一緒に昼ごはんを食べていくうちに、重い雰囲気が少しずつなくなり、お互いにコミュニケーションを取るようになりました。（ニコラス）

グループに分かれて開発がはじまる

iPhoneアプリ作成コースを選択していたので、教材を使ってプログラムしました。それでもかなり手こずりました（笑）。（マコト）

初日の開発では、初めて「Ruby」を使ってプログラミングを行いました。

「Python」に似ているようなところもあったけど、全く何をすればいいかわからなかったです。LifeIsTech側がわかりやすい教科書のようなものを用意してくれており、どんなことをすればこういう事ができるのか一つ一つ丁寧に説明してあって助かりました。（ニコラス）

webデザインコースはまず、パソコンにライフイズテックが用意したゲームをプレイしwebデザインについて学びます。午前中はずっと開発でした。（カリナ）





1日目終了！

宿泊コースだったのでその後宿に移動して晩御飯を食べて親睦会のようなことをしました。部屋割りは高校生と中学生で分けられていたのですごく話しやすかったです！（マコト）

初日終了後、宿泊プランの人たちだけ集まりました。そこも自分は不安になっていました。今回はグループごとに部屋割りが決まっております、同じ部屋で何人も一緒に寝ることって慣れていないからです。

夕食広い部屋でみんなと一緒に食べ、その後クイズのアクティビティで部屋に布団を引いて寝る準備をして、1日目を終了しました。（ニコラス）

私たちが宿泊した旅館は元伯爵邸らしく、とても広い作りでした。最初はぐるぐる迷ってしまいます。キャンプ最終日まで迷っている子もいました。（カリナ）





Day 2

2日目はじまる！

8時頃に朝食が来ました。さすが旅館、御膳で出てきてご飯はおひつに、飲み物は煎茶でした。ご飯はとても美味しかったです。

おひつを見るとかなりの量のご飯が…。これはおかわりするしかない…。残すと廃棄されるのは明白です。私がおかわりをすると横の二人もおかわりをしました。そうだよねとても勿体無いよね。それでも無くなる気配はありません。私がもう一度おかわりをしても残っています。

無理でした。時間が無かったし、量もあった…。願わくは、廃棄を免れ、ちゃんと人に食べられたらいいな…。可能性は低いですが、おひつに入っているので…。

会場に持っていく荷物の整理をしながら考えました。

昨日は机が低かったからかパソコンをさわりにくかった。この本を机とパソコンの間に挟んだら…。厚さ約5センチの重い本、前々から探していて、でも見つからなくて、観光に行った秋葉原の古本屋で見つけた新品の中古の本、理想は発泡スチロールだったのですが、そんなものがあるとは思えません。

(カリナ)

パソコンの操作のやりにくさと行き帰りの荷物の重さを天秤にかけて、本を持っていく事にしました。

会場に着くと早速本を挟んでみます。やりやすさは上がりましたが、まだ少し低いです。明日は更にバスタオルを挟んでみましょう。(カリナ)

本格的にプログラミングを始めました。教材を見ながら、時計のアプリとアイコンの作成を行いました。時計のアプリは、ネットから背景に使用する好きな画像を拾って使いました。2日目になってから同じグループの子とも会話が増えて、お互いにわからない所を教えあったり、学校ではどんな感じなのかを話したりしました。(マコト)

1日目の夜に部屋に帰ってちょっとプログラミングを進んでみたけど、エラーが出たりしてどうすればいいかのところをメンターさんに相談をしたら、ミスのところを教えてくれてエラーを治す事ができてすごく嬉しかった。

「サイトで何ができるのかが大切か考えてWEBサービスコースを選びました」とメンターさんに話すと、「めちゃ真面目じゃん！ちゃんと目標や理由を持った意見だね」と言われてすごく嬉しかった。自分が思ったことを言っただけなのに、こんなに褒められるのが嬉しくて、自分の考え方はこれで合っているなと思いました。(ニコラス)





2日目終了！

ぼくは夜間定時制高校に通っており、で大人数でご飯を食べる機会が最近なかったもので、楽しかったし嬉しかったです（笑）。夕食・プログラミング後は、それぞれ部屋に戻り、部屋のメンバーでプログラミングをしながら喋って2日目は終了しました。（マコト）

部屋に戻ると、同じ部屋の子がプログラミングをしていたので、その子とお喋りをしました。

話してみると、その子は広島から飛行機できたらしいです。飛行機は乗ったことがないのですごいと思いましたが、私は9月に修学旅行で北海道まで飛行機で行く予定なので飛行機に乗れる!!とますます楽しみにしていましたが、修学旅行の一週間前に北海道地震が起こり、修学旅行が延期になってしまいました。ちょっと残念です。喋っているともう一人の子が帰ってきたので、三人で喋って寝ました。（カリナ）





Day3

3日目はじまる！

2日目にグループラインで今井さん（D×P代表）から「今日はみんなに会いに行くつもりだよ！」とメッセージが来ていて、ドキドキしました。こんなすごいキャンプに参加することができた理由は、今井さんと佐々木さん（D×Pスタッフ）と先生のおかげだったから、どう感謝すればいいかが全く分からなかった。頭も真っ白でしたが、今井さんに会った時に感謝の気持ちを伝えて、今井さんからの質問に答えました。（ニコラス）

この日はゲストが来ると告知がありましたが、なんと「ちはやふる」の作者である「末次由紀」さんが来てくれました！まさか漫画家さんが来るとは思わず、とてもテンションが上がりました(笑)。

最終日の発表に向けて、音楽アプリを作成することに決めました。今回の教材にない教材をメンターの方に見せてもらいプログラミングを開始していきました。（マコト）



3日目終了！

午後の開発が終わり、晩御飯。今日はハンバーグとチキンです。女子にはとても重い食事だったのか残している人が大半で、半分も食べられてない人もいました。私は全部食べましたが…。勿体無かったです。

部屋に戻った時、ふと周りを見渡すと、私の好きなゲームのキャラクターストラップが付いている筆箱を見つけました。その筆箱の持ち主は、私と同じ部屋の参加者。共通点を見つけたことが嬉しくて、定期入れに付けていた同じ作品のキャラクターストラップを見せました。その子とゲームトークで盛り上がり、ますます仲良くなりました。（カリナ）

この日夜、宿では、別の高校生グループと話す機会が増えて仲良くなりました！（マコト）





4日目はじまる！

プログラムも残り2日ということで、この日は1日ガッツリ時間を使ってプログラミングをする日でした！周りがすごく頑張ってる姿を見て「自分もやっこ！」とやる気が出てきました。ですが、プログラム完成間近でエラーを見つけてしまいました。原因がなかなかわからず、メンターさんと試行錯誤したんですが、なかなか直らない……。やっとの思いで見つけたエラー原因は「空白1つだけだった」ということ。単純なミスすぎてメンターさんと笑いました。(マコト)

自分が理解しているコードを書いていると、様々な機能を加えるために色々試行錯誤していたとき、エラーが発生してしまった。その時、メンターは他の人に説明していたからあまり邪魔をしたくないと思い、解決方法をインターネットで調べてみました。調べたことを色々試していると、メンターが自分の方に来て「作品はできそう？」って聞かれました。エラーの部分を見せたら、「こんなコードを自分で書いたの？こんなの書ける事はすごいよ！」と褒められたのがすごく嬉しかったです。「ここをこういうふうに変えてみたらどう？」とアドバイスをもらうコードを変えてみると、エラーが無くなりました。

そんな感じで、4日目は開発ばかりの時間であっという間に終わりました。とても楽しくて、本当のプログラマーになったイメージがしました。（ニコラス）

今日の昼食も学食で、時間があったのでメンターにスタバへ連れて行っていただきました。私はスタバに行ったことがなかったので、メニューを見ても何が出るかよくわからないので、チョコ系でお願いしました。飲んでみると、とても美味しかったです！！

ちなみに、お金はメンターさんが払ってくれました。「その分頑張れよ！」と発破をかける意味らしいです。最初は申し訳ないと思いましたが、発破をかけるなら任せて下さい。部活の発表で慣れてます。絶対に完成させます。

午後の開発が終わる少し前に、最終日の発表用におけて動画を撮りました。まだホームページの出来に納得していないので、旅館でも開発をするつもりです。（カリナ）





4日目終了！

その日の夜は宿泊最後の泊まりになるので、最後のお風呂もゆっくり体を流したし、夕食もみんなと楽しんで食べました。最後に部屋の仲間と4人ぐらいでトランプで遊んだ記憶もあります。とても楽しかったです。

(ニコラス)

4日目の夜、同じ部屋のメンバーと寝泊まりするのは今日が最終日。「短いけど楽しかったな〜」とか「これからどーする？」など色々話しました。

(マコト)





Day 5

5日目はじまる！

5日目、最終日。思い返してみるとあっという間だったと思います、五日間がこんなに早く過ぎるのがびっくりして、逆に布団から出たくなかったです。ぼくは一番最初にプログラムを発表することになり、午前中からドキドキが止まらなく、セリフもすごく考えづらかったです。他のメンターさんから「頑張れ!」、「おもしろそう!」という声かけのおかげで、緊張がほぐれて発表しやすかったと思います。

閉会式の時、そこでメンターさんから一人ひとりにDVDとメッセージをいただきました。メンターから、「今までの5日間の頑張りや努力は、これからも将来に繋がっていく」と話していただき、とても感動しました。お世話になったメンターさん、いつかまたどこかで会えますように。

(ニコラス)

プログラムの最後調整を済ませ、発表の練習をしました。「〇〇都道府県から来ました〇〇ですって言おう」とメンターがチームに提案しましたが、皆緊張していて六人中一人しか言いませんでした。発表はまずまずの出来だったと思います。

そんなこんなでプログラムも終了。閉会式でメンターさんがこの五日間の事を振り返ったメッセージをCDカバーに書いてくれました。とても照れくさかったけど嬉しかったです。

同じグループだった子とはLINEを交換しました。

私の五日間はまだ書き足りないことがたくさんありますが、これで終わります。
(カリナ)

いよいよ今日は発表の日。全グループの中で一発目の発表だったので凄く緊張しました。発表自体は嘸むこともなく、そこまで早口になってなかったと思うので上手く発表出来たと思います。

発表が終わったあと、今回の5日間のプログラムの様子をまとめたDVDをプレゼントしていただきました！DVDの中身は5日間の思い出が詰まっています、すごく感動して泣きそうになりました（笑）。

メンバーと別れるのはとても名残り惜しかったです。プログラム終了後、仲良くなったメンバーと晩御飯を食べてすごく楽しかったです！その後は無事に大阪に帰れました！（マコト）





寄付者さんへのお礼の手紙

寄付者の方々のおかげで貴重な体験が出来ました！色々な人と関わって、色々な方向に視野が広がったと思います！厚かましいかも知れませんが、次回もこんな機会があれば参加させていただきたいです！（マコト）

パソコンとキャンプ代ありがとうございました。

プログラムを見ると、うちの家庭では東京に行く交通費だけでも経済的にキツくて、とてもじゃないけど行かせてあげられないとお母さんが言ったので、とてもありがたいです。

私自身一人で東京まで行く機会がなくて、一人で新幹線に乗ったり宿まで一人で歩いたりという経験がなく、パソコンの事だけでなく、行って帰るまでとてもいい経験になりました。

こちらも思いを綴っていると、とんでもない量になりそうなので最後に一言簡潔に。私達の為に寄付してくれてありがとうございました。（カリナ）

こんな素晴らしいキャンプに参加できて、これからの人生の大切な一歩になったと思いました。僕みたいな外国人はなかなかこういう機会がなく、家族の経済的にもキャンプに参加するお金を出すことは難しいと思います。とても心から感謝しています。本当にありがとうございました。

最初にTECH募金の話聞いた時、ぼくが選ばれると思わなかったです。先生から結果発表を聞いた時、心臓が止まりそうで、すごく嬉しかったです。

プログラムに参加する前は、自分と同じ興味を持った人たちとプログラミングをすることは、専門学校に入学してから経験をするものだと思っていました。しかし、このキャンプに参加させてもらって、プログラミングに興味を持っている人たちがあんなにいっぱい居るなんて知らなくてとてもびっくりしました。

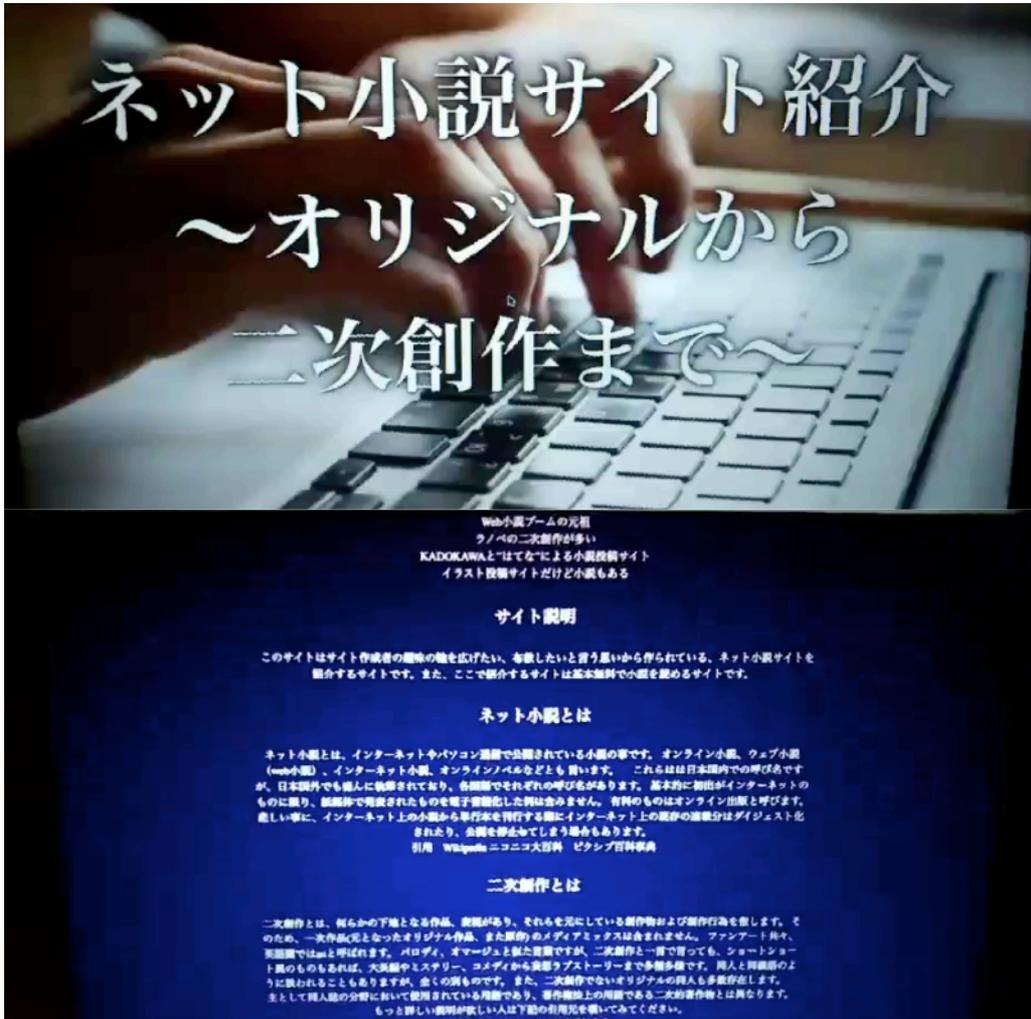
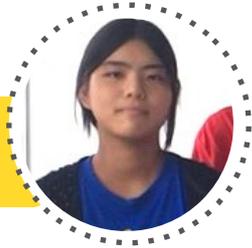
今まで興味だったものがもしかしたら将来の仕事に繋がっていくことになると考えていて、いつも親や先生から、自分の好きなことで仕事にした方が一番良くて何回も言われてていました。初めてプログラミングに触った時も、自分の考えが人の助けになるようなプログラムを作れたらいいな、と思いました。これから、辛いことも、難しいこともいっぱいあると思いますが、いろんな人が支えてくれていることを思い出してこれからも頑張っていきたいと思います。こんな素晴らしい経験は人生で初めてです。

この先、人々の役に立つプログラムを作る事ができるのか不安になるかもしれませんが、今では少しずつ努力して、プログラムを作ってみます。寄付者の皆さんのおかげでいろんな体験をさせてもらいました、本当に心から感謝しています。本当にありがとうございました。

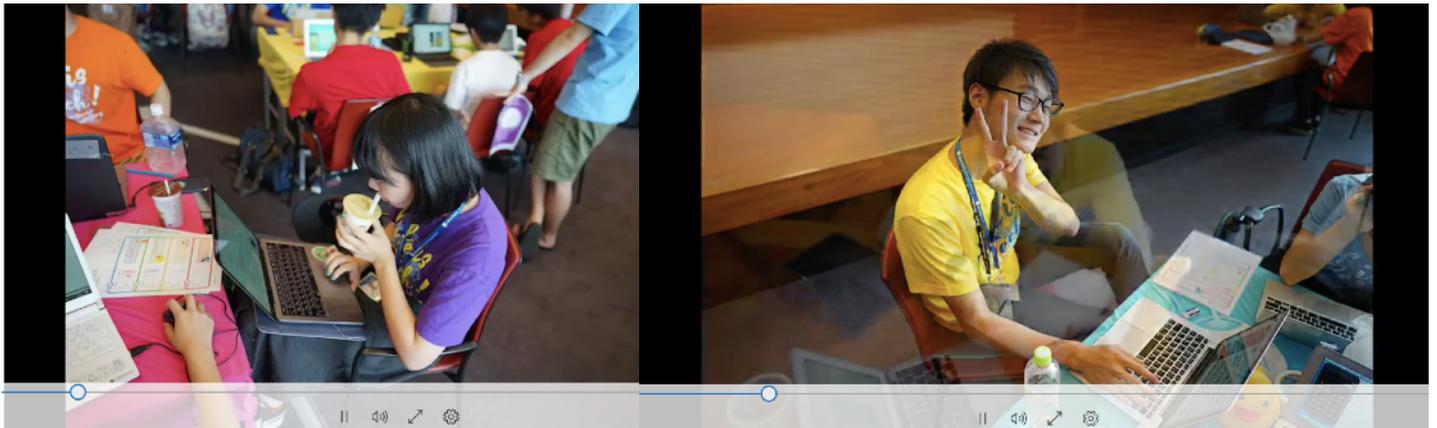
これからも新しい自分、自分の好きな事で仕事をやっていく事を頑張っていきたいと思います。（ニコラス）



ネット小説紹介WEBサイト作成 BY.カリナ



制作風景スライドショー BY.コウジ



TECH（テック）募金とは？

TECH募金は、PCの無償提供とIT・プログラミング・クリエイティブを学ぶキャンプに高校生が無料で参加できるプロジェクトです。経済的困窮など生きづらさを抱えた高校生を対象とし、ご寄付により運営しています。高校生をサポートする認定NPO法人D×P（ディーピー）と若者を支援する認定NPO法人育て上げネットの協働で行われました。

2018年夏は、ライフイズテック株式会社が提供する「Life is Tech! サマーキャンプ2018」に高校生5名を送り出しました。4月にクラウドファンディングサイトCampfireで87名から2,025,000円を集め、実現しました。

団体概要

認定NPO法人D×P（ディーピー）

公式WEBサイト：<http://www.dreampossibility.com/>

ひとりひとりの高校生に「つながる場」と「いきるシゴト」を提供することを目指し、現在通信制高校・定時制高校でプログラムを届けています。大阪・京都・兵庫・滋賀・札幌・岡山の高校でプログラムが導入されており、年間約1,000名の高校生をサポートしています。

認定NPO法人育て上げネット

公式WEBサイト：<http://www.sodateage.net/>

すべての若者が社会的所属を獲得し、「働く」と「働き続ける」を実現できる社会を目指し、若者と社会をつなぐ活動をしています。無業の状態にある若者の就労基礎訓練プログラム「ジョブトレ」や保護者の支援の他、小・中・高校生の学習支援や、高校等への教育支援プログラムを実施しています。

Life is Tech!(ライフイズテック)

公式WEBサイト：<https://life-is-tech.com/>

Life is Tech!（ライフイズテック）は、中学生・高校生のためのプログラミング・IT教育プログラムです。スマホアプリ、ゲーム、Web、映像、デザインなどの最新のIT技術やプログラミングを楽しく学ぶきっかけを提供し、中学生・高校生の「好きを形にする力」や「未来の選択肢」を増やすことにつなげ、彼らの可能性を最大限に伸ばすことを目指しています。

Life is Tech! サマーキャンプ2018について

「Life is Tech! サマーキャンプ2018」は、中高生向けのプログラミング教育事業を手がけるライフイズテック株式会社が主催する中学生・高校生向けIT・プログラミング講座です。iPhoneアプリ開発、Webデザイン、メディアアート、ゲーム開発、Maya 3DCGコースなど多彩な全17コースをご用意。生徒6人に対してメンターが1人付く個別指導学習、質の高いカリキュラムが特徴の学習プログラムのほか、著名な講師による講演会やワークショップ、ITへの興味を広げるアクティビティなどひとりひとりの中高生の可能性を広げるプログラムが充実しています。<https://life-is-tech.com/camp/>